

～ブロックの世界～

最初は、Aくん・Sちゃん・保育士3人で遊んでいたブロック遊び！
思い思いに組み合わせている間に…

「2階建ての家作ろうよ！」 「動物はどこに置く？」
「食べ物買ってこようか！」など友達とやりとりしていきます。

どう組み合わせるのか、どこに何を置くのかなど考えている中で
子ども達は想像力、創造力を養うことができます。



遊びの発展

「かくれんぼしようよ！」
その言葉に遊びが変化していきます。



みんな隠れてね！

ブロックの人形を自分に見立てて、
ブロックの壁やブロックの同士の隙間
など人形を隠してかくれんぼが始まりました！



みつけた！



外で遊ぶかくれんぼがブロックの世界へ…

友達と言葉でやりとりをしていく中で、イメージの共有ができていき
保育士が入らなくても遊び込む姿がありました！

時に、ルールの理解には個人差があり
「遊び方が違う」「次、鬼になるって言ったじゃん」など
言い合いになってしまう姿が…



すぐに保育士が間に入るのではなく自分の気持ちを言葉で伝えられる
ように保育士はそばで見守ります。また、相手の思いに気付けるように
声掛けをするなど友達との関わりを大切にしています！